

医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) 対策としての外力低減ケア

3M™ マイクロフォーム™ サージカルテープ (2.5cm幅) を使用

ポイント

- 医療関連機器が直接、皮膚に触れないようにする
- 貼付部位に応じて、テープに切れ込みを入れる工夫をする

動画 (使用方法) のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画の視聴とあわせてご活用ください。

動画 URL : URL <http://go.3M.com/medical/mdrpu1528/> (再生時間 : 1分24秒)



1. 血管留置カテーテル接続部やクランプによる圧迫対策

このような経験はありませんか？

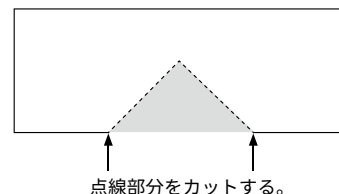


血管留置カテーテルを固定する場合、接続部やクランプが、皮膚に直接あたり、圧迫する事はありませんか？

テープの準備



テープを適切な長さにカットし、中央に切れ込みを入れます。



貼り方



1 切れ込みを入れたテープを接続部の下に差し込みます。

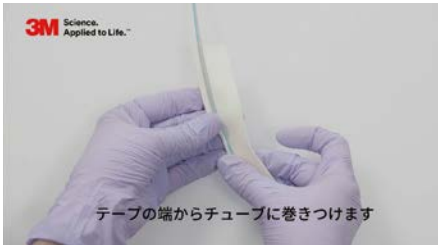


2 このように接続部やクランプが皮膚に直接あたることを防ぎます。



3 切れ込みの入ったフィルムドレッシング材でも同様に接続部やクランプが皮膚に直接あたることを防ぎます。

2. チューブによる耳介の圧迫対策



テープの端からチューブに巻きつけます



テープの端からチューブに巻きつけます



チューブが直接皮膚にあたっていない事を確認

1 テープを適切な長さにカットし、端からチューブに巻き付けます。

2 チューブが直接皮膚にあたっていないことを確認します。

※ 本資料は使用方法の一例であり、本品およびチューブ等の取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景及び状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください。

3M、マイクロフォームは、3M社の商標です。

2019年10月発行

3M


スリーエム ジャパン株式会社
医療用製品事業部

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
CAPT-041-A

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)